

事務事業 No./名 称	■サービス部門 環境-04 減量化資源化運営事業							
	□支援部門							
主管課	資源循環課	関連課	ごみ減量・資源化推進担当、環境センター					
分野名	生活環境							
目標 (目標値)	3R事業を推進し、循環型社会の形成を目指す。また、生ごみ処理機の世帯稼働率29.2%(平成27年度)を目指す。							
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人				
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯				
	事業の対象者数							
運営資源 状 況	決算値(千円)	32,700	31,281	29,009				
	(国・県)							
	(負担金等)							
	(一般財源)	32,700	31,281	29,009				
	人員配置数	5.0	5.0					
	人件費(千円)	43,233	44,695					
	協働の パートナー							
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	75,933	75,976	74,295				
	市民1人当 りの経費(円)	428	429	419				
	対象者1人 当りの経費(円)							
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒	横浜市	横須賀市	逗子	藤沢市	鎌倉市		
	生ごみ処理機普及率	なし	6.4%	25.2%	なし	17.0%		
	リサイクル率	25.6%	34.7%	25.5%	32.0%	47.7%		
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)	
ごみ焼却量	◎	目標値	40,340t	39,700t	39,745t	38,523t	29,923t	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	40,173t	40,389t	39,100t	37,891t		

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切＝○、要改善＝△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大	B:現状継続	C:改善・見直し	D:統合縮小	E:廃止・休止
減量化資源化運営事業	13,305千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒ ■A □B □C □D □E
	事業の概要	3Rの取組を推進する事業								
減量化資源化運営事業(新)	19,395千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒ ■A □B □C □D □E
	事業の概要	生ごみ処理機等の普及を進め、ごみの減量・資源化を図る事業								
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要									
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要									
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要									

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	生ごみ処理機の普及目標台数1,340台、大型生ごみ処理機2台の普及達成に向けての取組。		
課題解決のための取組	自治・町内会の説明会での生ごみ処理機の紹介やキャンペーン、各種イベントへの積極的参加などの普及活動を実施。併せて、家庭用や大型の生ごみ処理機のモデル事業にも取り組む。直接販売制度を構築し、さらなる普及促進を図ったが、普及台数が当初目標に達成しない見込みとなり、工程を修正。目標台数とモデル事業等の内容の見直しを図り、家庭用生ごみ処理機のモデル事業については自治・町内会単位での申込制に、大型生ごみ処理機は自治・町内会、事業所に各1台ずつの計2台導入に変更した。	取組の結果	□解決 ■未解決
未解決の課題	平成27年度の年間ごみ焼却量29,923tを達成すること。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切○ 要改善△ (評価の視点を参照) ➡	①効率性	○	今後の 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続C: 改善・見直しD: 統合縮小 E: 廃止・休止		※□事業完了
		②妥当性	○		↓ A	課長等名	
		③有効性	○			担当課長	
		④公平性	○			小澤 圭介	

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
減量化資源化運営事業	主な個別事業	1,173 事務補助嘱託員報酬 2人	2,057	2,057	○	○	○	○
		1,173 3R推進事業奨励金	5,000	4,857	○	○	○	○
		1,173 事務補助嘱託員費用弁償	121	59	○	○	○	○
		1,173 啓発用消耗品費	1,224	1,013	○	○	○	○
		1,173 鎌倉ごみ減量通信印刷製本費	441	358	○	○	○	○
		1,173 資源物50首別分別区分冊子印刷製本費	288	206	○	○	○	○
		1,173 収集日カレンダー印刷製本費	153	82	○	○	○	○
		1,173 啓発用チラシ等印刷製本費	231	197	○	○	○	○
		1,173 ダメシール印刷	650	644	○	○	○	○
		1,173 大型生ごみ処理機用光熱水費	180	190	○	○	○	○
		1,173 大型生ごみ処理機維持修繕料	700	235	○	○	○	○
		1,173 減量・資源化啓発委託料	363	339	○	○	○	○
		1,173 大型生ごみ処理機保守管理業務委託	1,928	1,928	○	○	○	○
		1,173 大型生ごみ処理機賃借料	1,141	1,140	○	○	○	○
減量化資源化運営事業(新)	主な個別事業	1,104 生ごみ処理機購入費	14,315	4,706	○	○	○	○
		1,104 啓発用印刷製本費	245	232	○	○	○	○
		1,104 大型生ごみ処理機用光熱水費	1,651	549	○	○	○	○
		1,104 大型生ごみ処理機リース	6,471	1,485	○	○	○	○
		1,104 事業系大型生ごみ処理機電気料負担金	0	99	○	○	○	○
		1,104 生ごみ処理機購入助成	20,000	12,167	○	○	○	○
		1,104 リユース食器補助金	505	157	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							